【授業科目】保健統計学　　Health statistics

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
工藤 安史	２年次 後　期	選　択	２	３０	講　義		巻末 掲載	可

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する フィードバック方法	授業概要／統計処理は、通常、統計ソフトを用いる。しかしながら、統計学的な考え方や基礎知識を身につけていないと、統計ソフトを使いこなすことはできない。そこで、この講義では、実際に電卓を使って保健・医療・福祉に関連する統計に関するデータを計算することで、統計学の考え方の基礎を身につける。また、保健師の国家試験の過去問を解くことで、知識の定着を図る。 課題に対するフィードバック方法／授業中の確認テストおよびレポート課題、さらに学年末試験などに対して、講義中および掲示板を通して、学習方法について助言する。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から看護の役割を考え、実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①　保健・医療・福祉に関連するデータを分析し、エビデンスに基づく質の高い医療サービスを提供できる。 ②　統計処理を行っている文献を読み、文献の内容を理解できる。 ③　卒業論文を含め、統計学の知識を用いて研究を実践できる。
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	第1回から第15回の事前学習：講義レジメを配布しますので、レジメを予め読んで来て下さい。また、教科書で該当する箇所を読んできて下さい。（目安となる事前学習の時間は、1回あたり2時間です） 第1回から第15回の事後学習：講義で指導した内容を踏まえ、レジメプリントおよび教科書を中心に復習して下さい。（目安となる事後学習の時間も1回あたり2時間です） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回から第4回　データのまとめ方 　度数分布表、ヒトグラム、分布の特性値（平均、中央値、標準偏差など）、グラフの作成方法などについて学ぶ。 第5回から6回目　正規分布とｔ分布 　正規分布の特徴の他、データの標準化について学ぶ。また、ｔ分布について学ぶ。 第7回から第8回　練習問題を解く 　練習問題にトライすることで、第1回から第6回までの講義で学んだ知識を定着させる。 第9回から第12回　仮説検定 　仮説検定とは何か、ｔ検定、カイ二乗検定などを学ぶ。 第13回から第15回　まとめ 　保健医療統計学に関連する練習問題を解くことで、知識を定着させる。 全て 工藤
評価方法 評価基準	筆記試験 100％で評価する。
教科書	浅野嘉延　看護学生のための疫学・保健統計学 改訂第4版　南山堂 参考書等：必要に応じて、書籍や文献を紹介する。
学生への メッセージ	医療の質を高めるために、保健統計学の知識が必要不可欠であることを講義中に話します。